

みんなの文芸



俳句

ことぶき俳句会

流水がきたよと囀うシクラメン
にしん漬け氷まじりの鉢の中
メモをして何か忘れる凍る道
マスクしてひと月分の葉袋
でこぼこも平らに見えて雪の道
七十歳琥珀色なる鬼やらい
両向い空き家見ながら毛糸編む
公園にひとつの楽しみ雪だるま
天国の奥にいもうと雪止まず

稲田 文江
大山みどり
越坂 順子
橋本 葉子
長谷川アキ
福原 仁子
松尾枝実子
渡邊 道
高橋 悦子

川柳

浦幌川柳会

神の道求めて歩く一歩二歩
三味線のジーン演奏目をみはる
引き出しの心の余裕刻む春
珍らしと煮るうれしさの零余子むかこかな
風邪なのか身体からだが重い熱もある
渋紙の文庫ににじむ恋曆

橋本 葉子
山村 幹雄
阿部 麗紅
柴田 弘子
星 愛子
加藤 未貴

川柳

上浦幌句の会

課題吟 鶴
期待する優雅な鶴は何時来るか
手彫り鶴手に盃笑顔酒
湿原に夫婦仲良く鶴が舞う
酷寒の丹頂の舞優雅さよ
亡き夫まふの手彫りの鶴が生きている
縁起よし鶴飛来した酪農家

朝日ヒロエ
笹島カヨ子
河村みよ子
大西 功
福田すま子
芳川 乙美

短歌

心友愛会

日々暮らすお正月も過ぎ子等帰る
何か寂しい友こゆる夜
この世では義理と人情で生きていく
小さい出会い大きな絆
風強し雲の流れに添うように
生きてゆきたし残りの余生
友一人迷惑かけてた我ゆえに
何時になつたら心安まる
灯油に消費税上がる電気料も
下がる給料家計簿赤字
窓明かり夜空の星を見上げてる
長生きしてか少しの喜び
雪もやみ少し太陽が眩しい日
ホッ一息夫と寛ぐ
日々送る母の面影忍びつつ
心佻しく目に涙して
滑る道自転車頼り母のもと
汗をふきふき家路を急ぐ
お正月子等に世話かけ心安らか
帰りし後の心残りは
子等が来て温泉に浸かりお正月
心淋しき一人暮らしは
凍り道自転車怖い迷い道
心曇らせ体も重い
頑張れを顔晴に返えて微笑みし
されど空しき老いたる我が身
薄れ行く過去となりたる数々が
風にちぎれて夕日と共に

小澤 つや
小川 房子
長屋みよ子
堀井あやの
前川 静江
富田さた子
浅野 京子
角田美代子
山久保敬子
文屋 房子
田代 チエ
山岸 明美
佐藤 成子
星 愛子

編集後記

■表紙の写真は、浦幌幼稚園で行われた節分の豆まきの様子です。ほとんどの子が泣きながら逃げたり先生の後ろに隠れたりしていましたが、年長さんは違います。鬼に向かって行って、至近距離から豆をぶつけます！もうすぐ小学校に通うお兄さん・お姉さんはやっぱり違うなと思いました。

■十勝太ロランCが閉局し、海岸線にあった高い電波塔も解体され、今はもう見る事ができません。今までもそこにあったものが無くなると、なんだか寂しい気がしますね。

■先月号で節分に恵方巻きを食べる話をしました。皆さんは食べましたか？私は去年、恵方とは違う方向を向いて食べてしまった反省から、今年こそ！と思っていたのですが、食べることを忘れてました。普通にご飯を食べ、次の日に思い出しました。残念です。

■インフルエンザになった。そんな言葉を聞くようになります。皆さん大丈夫ですか？うがい・手洗い、予防に努めましょう！

(川)

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。